

# れんけいしゅう!

地域医療支援病院  
 広島県指定がん診療連携拠点病院  
 災害拠点病院  
 広島DMAT指定病院  
 日本医療機能評価機構認定病院



## TOPICS



- ◆「脳腫瘍に対する神経内視鏡手術」脳神経外科 医長 藤井謙太郎
- ◆「下肢静脈瘤は日帰り治療の時代になりました」形成外科 部長 小林友哉
- ◆「令和6年度 呉共済病院 地域医療連携懇談会」
- ◆「地域医療連携室NEWS」

### 病院の理念

高度・良質の医療 最善の奉仕  
 研鑽と協調 地域医療の支援

### 基本方針

- 一 良質で適切な医療の提供に努めます
- 二 患者さんの権利を尊重し 患者さんの満足・安心・信頼を追求します
- 三 新しい知識と技術を積極的に習得し 常に質の高い先進的医療を行います
- 四 地域の中核病院として 地域社会の要請に応える医療を提供します
- 五 職員が意欲をもって働ける病院をめざします
- 六 次代を担う有能な医療従事者の育成をめざします
- 七 専門的ながん医療の提供に努めます
- 八 国内での医療救護活動に積極的に参加します

呉共済病院キャッチコピー

まもりたい、  
 あなたの明日と  
 地域の医療。



呉共済病院は、県指定のがん診療連携拠点病院です。がん検診などでがんの疑いがあると診断された患者さんの精密検査や治療を行っています。是非ご紹介ください。

### 地域医療連携室 NEWS

	2024年4月	2024年5月	2024年度累計
紹介患者数《初再診全て》	958	995	1953
逆紹介患者数	862	888	1750
紹介率	69.5%	68.8%	69.1%

# 脳腫瘍に対する神経内視鏡手術

脳神経外科 医長 藤井 謙太郎

脳腫瘍は、大きく原発性脳腫瘍と転移性脳腫瘍とに分かれます。そのうち原発性脳腫瘍は頭蓋内に発生する新生物で、病理組織学および遺伝学的に細かく分類すると150以上の種類があります。

脳腫瘍の治療の第一歩は手術による摘出ですが、手術方法・手術器具や手術支援機器の発展が目覚ましく、治療成績は年々向上し合併症も減少しています。特に近年は神経内視鏡の発展が急速に進んでおり、従来の顕微鏡手術では十分に摘出することができなかった腫瘍が、内視鏡手術によって摘出できるようになっています。

今回は脳腫瘍摘出における神経内視鏡手術の代表格ともいえる、下垂体腫瘍の手術についてご紹介いたします。

下垂体腫瘍には、主に下垂体神経内分泌腫瘍（PitNET: Pituitary Neuroendocrine tumor、WHO組織分類2022年で、下垂体腺腫から名称が変更されました）、頭蓋咽頭腫およびラトケ嚢胞などがあり、特にPitNETは原発性脳腫瘍の中で髄膜腫や神経膠腫に次いで3番目の頻度で発生します。

下垂体は解剖学的に最深部に位置し、この部位の腫瘍に対する手術のアプローチ方法は開頭による方法と鼻を経由した方法があります（図1）。

PitNETの摘出術は、古くは開頭による摘出が行われていましたが20世紀後半には顕微鏡下での経蝶形骨洞手術が行われるようになり、さらに2000年以降は内視鏡手術が取り入れられ急速に普及していきました。現在、内視鏡下での経鼻経蝶形骨洞手術はPitNET摘出においての

Gold standardとなっています。内視鏡手術は従来の顕微鏡手術と比較すると①術野でも明るく広い術野が展開できる、②顕微鏡手術の死角となる部位を観察できる（図2）、③鼻腔の奥にある粘膜を切開して腫瘍にアプローチするため、術後外見上には創の痕がない、という利点があります。特殊な技術や機器を必要とするため手術を行える施設は限られますが、より侵襲の低い手術として注目されています。

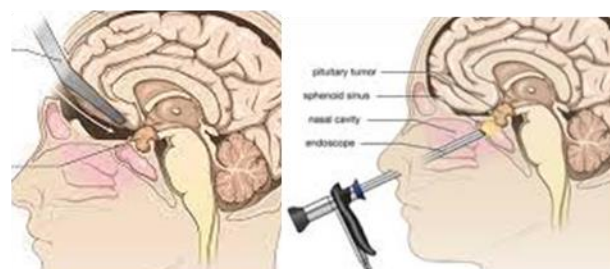


図1

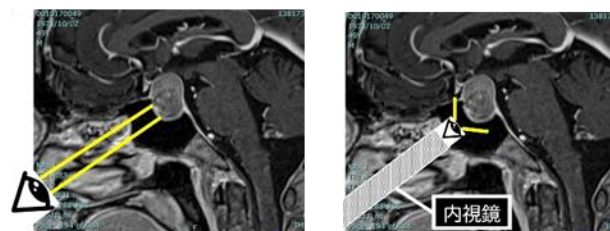


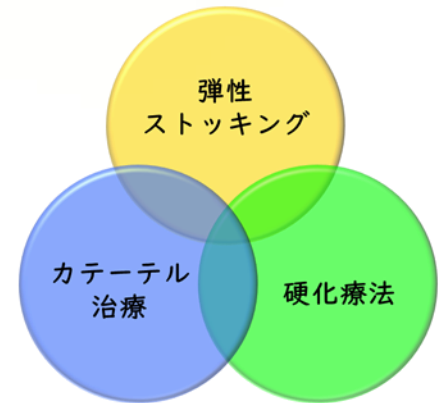
図2（左：顕微鏡での術野 右：内視鏡での術野）

PitNETの治療は手術に携わる脳外科だけではなく、代謝内科/内分泌内科、耳鼻咽喉科や眼科等他科との連携も重要であり、当院でも治療が可能です。下垂体腫瘍をはじめ、脳腫瘍の患者様がおられましたら、呉共済病院脳神経外科への紹介もご検討いただけますと幸いです。

# 下肢静脈瘤は日帰り治療の時代になりました

形成外科・下肢静脈瘤センター 部長 小林 友哉  
下肢静脈瘤血管内治療実施・指導医

下肢静脈瘤の治療は見た目の改善だけでなく、脚が軽くなる、こむら返りが解消するなどQOL(生活の質)を上げることが期待できます。命に関わる病気ではありませんが、健康寿命を伸ばすことができる可能性があります。治療法は次の3つが柱になります。すべて保険適応です。



下肢静脈瘤治療3本柱

## カテーテル治療

- ・本幹(大・小伏在静脈)に行く治療です
- ・焼灼術と塞栓術(グルー治療)があります
- ・治療は片脚30分ぐらいです
- ・ADLの自立している方なら年齢制限はありません

## 硬化療法

- ・瘤に対する治療です
- ・瘤に針を刺して硬化剤を注入します
- ・再発した瘤がよい適応になります

## 弾性ストッキング・圧迫療法

※ストッキングは自費購入

- ・静脈うっ滞による症状を緩和する治療です
- ・当院では弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター(通称ストコン(有資格者))が適切なストッキングの選択や履き方指導を行います



グルー治療と焼灼術のカテーテル

治療法は自覚症状(だるさ、むくみ、こむら返り、かゆみなど)とエコー検査をもとに相談して決めています。検査だけでもお気軽にご紹介ください。

ストコン

弾性ストッキングの専門家「弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター」  
～下肢静脈瘤治療に欠かせない相棒～

当院の下肢静脈瘤センターには、弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターの資格を有するスタッフが在籍しています。弾性着衣や弾性包帯の適切な使用および圧迫療法の普及を目的とした日本静脈学会認定の資格です。

役割としては医師の指示のもと、弾性着衣の種類やサイズの選択、着用指導、着用後の不満や問題点などの相談を引き受け、正しい着用が継続できるよう指導を行います。

うっ滞性皮膚炎や廃用性浮腫への圧迫療法にも対応可能ですので、お困りの症例がありましたら是非ご相談ください。

# 令和6年度 呉共済病院 地域医療連携懇談会

令和6年6月6日(木)呉阪急ホテルにおいて、令和6年度 呉共済病院 地域医療連携懇談会を開催いたしました。



病院長 田原浩

今回は、病院長田原浩より「外科手術及び周術期管理の変遷～恩師の導き～」について講演を行いました。その後の意見交換会では各診療科の紹介をさせていただきました。日頃から連携いただいている地域の医療機関69施設、124名の方にご出席いただき、盛況のうちに終了しました。



講演会の様子

ご多忙にもかかわらずご出席いただいた皆様に深謝申し上げます。ご出席いただけなかった皆様も、またの機会にお会いできますことを楽しみにしております。

今回いただきましたご意見を活かし、より一層の連携強化に取り組んで参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

呉共済病院 地域医療連携室一同

## かかりつけ医相談窓口のご案内

日頃、患者さんを診察するなかで、急性期病院に紹介するほどではないけれども、どのように対処するか悩まれるような症例はございませんか？

呉共済病院では、そういったご相談をメールでお受けしており、各診療科や部門担当者に提示して回答しております。

メールアドレス：[chiiki-soudan@kure-kyosai.jp](mailto:chiiki-soudan@kure-kyosai.jp)

ご相談、ご意見をお待ちしております。

※ご意見・ご相談への回答は早急に対応できるよう心がけていますが、数日お時間を頂戴することもございますので、ご了承ください。